

昭和 44 年度事務および事業報告

昭和 44 年 4 月から 45 年 3 月に至る間に行なった事務および事業の概要は、次のとおりである。

1. 会 員

名誉員・正員・准員・賛助員の異動

	名誉員	正員	准員	賛助員	合計
入 会	—	753	924	—	1,677
正員→名誉員	+3	—3	—	—	0
准員→正員	—	+782	—782	—	0
正員→准員	—	—42	+42	—	0
退 会	—	432	37	—	469
死 亡	3	50	1	—	54
除 名	—	695	248	—	943
復 活	—	104	—	—	104
差 引	0	+417	—102	—	+315

事業維持員の異動

	社数	口数		社数	口数
入 会	46	46	口数減少	0	0
退 会	9	11	期末現在	485	1,296
口数増加	0	0			

なお、各方面に口数増加を依頼した結果、45年度から 口が増加される。

期末会員数

	44年 3 月末	45年 3 月末	増減
名 誉 員	36	36	0
正 員	17,215	17,632	+417
准 員	2,144	2,042	—102
賛 助 員	2	2	0
事業維持員	448	485	+ 37
合 計	19,845	20,197	+352

期末支部別会員数

	名誉員	正員	准員	賛助員	合計
東 京 支 部	30	8,918	612	2	9,562
関 西 "	4	3,424	353	0	3,781
九 州 "	0	912	161	0	1,073
東 北 "	0	689	159	0	848
東 海 "	1	1,619	288	0	1,908
中 国 "	1	930	135	0	1,066
北海道 "	0	351	169	0	520
北 陸 "	0	390	81	0	471
四 国 "	0	399	84	0	483
合 計	36	17,632	2,042	2	19,712

備考；東京支部会員数のうち茨城支所所属会員は正員 851 名、准員 27 名である。

名誉員の異動 昭和 44 年 4 月役員会は、井上五郎、岡 雄一郎、山下英男の 3 君を名誉員に推薦し、5 月 24 日通常総会において推薦状を贈呈した。

なお、4 月に前会長・名誉員大西定彦君、10 月に前副会長・名誉員高橋兼治郎君、2 月に前会長・名誉員荒川文六君が逝去された。

そのほか、44 年度会長大槻 喬君が在任中の 11 月 17 日に急逝されたため、会長を補選の結果、山田直平君が当選、1 月に就任した。

会員の増加運動については、前年来の方針に基づき、これを推進し、会員総数は待望の 2 万名台に達し、特に事業維持員の社数と口数との増加にも、成果をおさめつつあるが、なお本格的には「学会活動近代化委員会」の企画による抜本的学会事業運営の近代化を必要とし各般の基礎的要因の検討を鋭意進めつつあり、差当っては、その一部の試行として「講習会分科会」により、45 年 9 月までに、会員ならびに一般技術者向の専門講習会 3 回を開催し、かつ必要な資料の出版をも計画したのである。なお、会員からのアンケートを行なう予定である。

2. 電気学会事務所の移転

本会本部事務所は、10 月 26 日に東京都千代田区有楽町 1 の 11、新有楽町ビル 11 階に移転した。

電気学会図書室・会員室および通信教育会事務室は従来どおり（同有楽町 1-3、日本電気協会会館 3 階）である。

3. 会合数

本期間における諸会合数は、回で、前期 1,182 回に比べ 回を増加した。

通常総会	1 回
役員会	4 回
理事会	18回
功績者選考規程改訂打合せ	1 回
学会活動近代化委員会	16回
編修企画委員会	12回
論文委員会	12回
ニュース委員会	12回
学界時報委員会	12回
編修懇談会	1 回
編修幹事引継会	1 回
編修幹事主査会	1 回
広告改善委員会	12回
事業維持委員会	1 回
連合大会改善委員会	9 回
連合大会企画常置委員会準備会	1 回
功績者選定委員会	4 回
桜井資金選考委員会	1 回
前会長・前副会長会	1 回
電気規格調査会	221回
調査研究委員会	558回
電食防止研究委員会	24回
誘導調査委員会	18回
CIGRE 国内委員会	4 回
電気加熱技術協会	12回
通信教育会	169回
電気・電子通信学会懇談会	1 回

合 計 1,144回

4. 定款・規則等の改正

定款の一部改正 5 月の通常総会において「本会役員会で承認された特殊学会の会員には、入会金の納付

を免除すること」とした（7月号通常総会記事参照）

支部通則の制定 5月の通常総会において、定款および本会規則に規定する以外の各支部に共通する事項を通則として制定した。（同上参照）

電気学会規則の一部改正 前項と同時に、附則によって定められていた、各支部制定の各支部規程の変更は、従来本会役員会の承認、また支部規程の変更はその属する支部役員会の承認を要することとなっていたが、この条文を削除し、それぞれ届出によることとした。（同上参照）

表彰関係規程の改正（9月）（10月号本会記事参照）

（1）**電気学会褒賞規程** 電気学会功績賞および電力賞の各受賞者はいずれも電気学会会員中から選定することとした。（電気学術振興賞受賞者は、従来から本会会員中から選定することとなっている）

また、論文賞の対象を電気学会雑誌に発表したものに限定した。

（2）**功績者選定委員会規程** 論文賞特別委員会委員の構成を変更した。

（3）**功績者選定委員会規程細則** 各功績者選定に関する細目の一部を変更した。

その他 6月には「編修企画委員会委員選考内規」および「論文委員会委員選考内規」を改正した。

12月には、故大槻前会長ご遺族から寄付金を受領し、これを電気学会賞金資金に繰り入れることとした。（1月号本会記事、12月理事会事項参照）

6月には、新規事業企画の試案として「事業企画臨時委員会分科会内規」を定め、1月には「講習会分科会」および「学生ガイダンス分科会」を設置することを取り極めた。（2月号本会記事、1月理事会記事参照）

5. 電気学会図書室の状況

本期間の利用者は次の通りで、年々増加している。

	会員	会員外	計
閲覧者数	738	481	1,219
コピーサービス件数	855	216	1,071

6. 功績者の表彰

44年5月24日第57回通常総会において、次の諸君に賞状、賞牌および賞金を贈呈した。

電気学会功績賞 実吉純一君

電力賞 高木利夫君

同 有働竜夫君

電気学術振興賞

進歩賞 稲田豪吉君・竹内政二君

同 梅津照裕君・尾出和也君

三田勝茂君

同 林 政義君・小柴 博君

成田利春君

同 東 昭君・岩村 衛君

論文賞 大野 豊君

同 斎藤成文君・浜崎襄二君

藤井陽一君・横山幸嗣君

大野 豊君・志田彦彦君

同 野口卓也君・堀井憲爾君

著作賞 竹内寿太郎君

7. 桜井資金による海外

派遣者

本期間には中島好忠君をCIGRE-SC および IEC-TC に派遣し、なお45年度の派遣として、杉浦賢君を第6回核融合シンポジウムへ、芹沢康夫君を第23回CIGRE大会への出席を決定した。

8. 大会

44年電気四学会連合大会は、3月27日から4月1日にわたり東北大学工学部および東北工業大学にて開催し、各支部においては10月から11月にかけて、それぞれ支部大会を開催した。発表された講演数は次表のとおりで、これ等への参加者数は延

約 人に達している。

懸案の大会の運営に関しては、6月に四学連合の大会企画常置委員会を設置し、鋭意検討を進め近く面目を新たにした実施案が発表される段取になっている。

	43年度	44年度	増 減
全国大会	2,748	3,363	+615
東京支部大会	416	430	+14
関西 "	238	328	+90
九州 "	192	190	-2
東北 "	130	167	+37
東海 "	300	260	-40
中国 "	68	105	+37
北海道 "	121	119	-2
北陸 "	81	90	+9
四国 "	73	82	+9
合 計	4,367	5,134	+767

備考

（1）全国大会では、以上のほか特別講演4件シンポジウム講演87件があり、懇親会、見学会の催しもあった。

（2）東京支部は、単独で東京（3日間）、日立（1日）、新潟（1日）の3箇所にて、5日間にわたり開催した、分科会方式およびリポータ方式による全件数である。

（3）東京支部以外は電気関係学会各支部と共催したもので、シンポジウムを行なった支部（関西、東海、）分は、一般講演との合計件数である。

（4）また各支部の多くは、全国大会に準じた行事を行なっている。

9. 講演会・講習会・見学会

本期間には、回を開催し、前年の147回に比べ回をした。参加者の概数は延人であった。

	講演会	講習会	見学会	合計
本部	1	—	—	1
東京支部	5	3	5	13
関西 "	18	3	5	26
九州 "	5	1	—	6
東北 "	7	1	1	9
東海 "	6	2	2	10
中国 "	17	1	2	20
北海道 "	8	1	1	10
北陸 "	3	2	2	7
四国 "	7	—	1	8
茨城支所	2	—	2	4
合 計	79	14	21	114

注：関西支部分には、准員および学生員のための定期講演会11回を含む。

10. 雑誌

本期間には次の12冊を発行した。

巻・号	年・月	発行年月日	総ページ数
89・967	44・4	44・4・26	276
968	5	44・5・28	322
969	6	44・6・30	278
970	7	44・7・28	336
971	8	44・8・29	274
972	9	44・9・27	324
973	10	44・10・28	264
974	11	44・11・28	310
975	12	44・12・24	322
*90・1	45・1	45・1・29	266
2	2	45・2・26	270
3	3	45・3・28	268

* 90 巻より号を変えた。

内 容	前 期	本 期
随 想・論 説	35	31
講 演	93	63
技 術 総 説	111	176
解 説	296	228
*ミニ解説	—	23
討議会・座談会	8	14
技術レポート	42	19
規 格	0	5
講 座	24	49
学 界 時 報	383	342
**特 許 紹 介	62	49
ニ ュ ー ス	70	62
本会記事・調査委員会記事	114	114
そ の 他	8	21
小 計	1,246	1,196
論 文	1,092	1,117
目 次・会 告	133	140
巻 目 次	93	28
*著 者 紹 介	—	13
製 品 紹 介	20	24
広 告	994	992
合 計	3,578	3,510

* 45年1月号より新設した。** 44年12月号をもって中止した。

以上 12 冊の総ページ数は 3,510 ページで、前記 3,578 ページに比べ 68 ページの減となったが、これは諸物価の値上りの影響をうけたため予算上予定ページ数を掲載できなかったためである。

欄別のページ数は表示のごとくであるが、45年1月号より次の変更を実施した。

(1) 表紙：主要記事の目次を掲載し、また従来通し号数を記載していたのを改めて発行月に対応させた。

(2) 記事：「ミニ解説」、「著者紹介」、「学界目次」を新設し、また「特許紹介」欄は従来の掲載

方法を中止して年1～2回解説的なものを掲載することに改めた。そのほか「資料」の充実をはかるため依頼原稿を考えることとした。

そのほか、運営面においては「編集企画委員会委員選考内規」、「論文委員会委員選考内規」を制定し委員の選考基準を明確にした。

なお、現在審議中の事項としては「論文掲載規則」の制定、「寄稿のしおり」の改訂、「短編論文」の可否などがあり、残された問題としては「論文集の発行」、「論文査読部門の再編成」、「大会、講習会などと雑誌との関連性」、「他学会との連携い」などがある。

11. 海外版・Electrical Engineering in Japan

本期間中、邦文雑誌の巻頭に論文の英文要旨をつけ海外関係機関に寄贈している海外版は、10 冊発行し、その総ページ数は 219 ページであった。

また IEEE 発行の本会誌論文英訳版 (Electrical Engineering in Japan) は本期間中 12 冊発行された。なお本英訳版は本年1月号より IEEE 発行を止め、Scripta Electronica Inc. と契約出版するよう変更の申し出があったので検討中である。

12. 技術報告

本期間には次の 8 冊を発行した。

号	発行年月	ページ数	報告件数
(I) 部 89	44・5	51	3
90	44・7	69	2
91	44・8	51	2
92	44・11	68	2
(II) 部 6*	44・4	66	1
7	44・5	60	1
8	45・1	78	1
9	45・1	133	1

* 重版

(I 部) 89号 短絡時における変圧器巻線の機械的強度について
油入機器内部絶縁の開閉サージ

フラッシュオーバー特性

工作機用電気品専門委員会報告書

90号 絶縁材料のコロナ放電による劣化(II)集中法電極による寿命試験結果

電車線摩耗特性専門委員会調査報告、トロリー線の摩耗特性について

91号 超高波法による水車流量測定について

サイクリックデジタル情報伝送装置仕様基準

92号 文字・図形自動認識専門委員会報告書

DDC 技術の現状と関心

(II 部) 6号 部分放電(コロナ)

試験法

7号 ヒューズの溶断時間と限流ヒューズの最大アークエネルギーについて

8号 給電運用の自動化

9号 給電運用の自動化(資料編)

13. 出版

(1) 電気工学ハンドブック (1 月発行) 改訂新版再版

(2) 超電導ハンドブック (8 月発行) 初版

(3) 電子計算機入力のための文字・図形の自動認識 (1 月発行) 初版

(4) 工場配電 (2 月発行) 初版

(5) 放電ハンドブック (11 月発行) 8 版

(6) 電気工学ポケットブックジュニア版 (初版 21 刷, 2 版 22, 23 刷) オーム社から発行

(7) 電気関係規格 (JEC) 初版 5 点, 重版 15 点

(8) 学術用語集 (電気工学編)

(13 版発行) コロナ社から発行

(9) 電気学会専門用語集「静止電力変換装置」(3 月発行) 初版
「半導体」(6 月発行) 改正版

14. 電気規格

新設した委員会

(1) 高速度しゃ断器標準特別委員会 (45-3)

解散した委員会

(1) 絶縁材料絶縁耐力試験法標準特別委員会 (45-1)

JEC の制定および改訂

〔制 定〕

JEC-178 半導体整流装置—その2 (シリコンおよびゲルマニウム整流装置) (44-5)

JEC-179 電力線搬送用ブロッキンググコイル (ライントラップ) (44-7)

JEC-180 規格票の様式 (45-1)

〔改 訂〕

JEC-158 標準電圧 (45-1) …JEC-158 (1964) の改訂

調査を終了した項目

○電気用語標準特別委員会

(1) 半導体専門用語 (専門用語集 No. 3, 改訂版)

(2) 静止電力変換装置専門用語 (専門用語集 No. 9)

(3) 電気加熱専門用語 (専門用語集 No. 10)

○積算計器標準特別委員会

(4) 寿命試験法の選定

(5) 寿命試験結果の判定法の選定

(6) 完全暴露形計器の構造

(7) 完全暴露形計器の耐候試験法

○計器用変成器標準特別委員会

(8) 三相計器用変圧変流器の逆相順使用について

(9) JIS 1731 および 1736 の解説

○試験電圧標準特別委員会

(10) 開閉インパルス試験要項 (技術報告)

作成した JIS 原案

(1) JIS C 1731 計器用変成器 (標準用および一般計器用)

(2) JIS C 1736 計器用変成器 (電力需給用)

IEC 原案の審議

本年の審議状況は、下記のとおりである。

IEC 文書審議件数

		CO 文書	S文書
TC 1	用 語	3	—
TC 2	回 転 機	—	3
SC 2 A	タービン発電機	—	—
SC 2 C	絶縁材料の分類	—	—
SC 2 D	損失および効率	—	—
SC 2 G	同期機定数	—	—
TC 3	図式シンボル	5	7
TC 4	水 車	1	1
TC 7	アルミニウム	—	1
TC 8	標準電圧・周波数	—	3
TC 9	輸送用電気設備	2	1
TC 10	絶 縁 油	—	—
SC 10 A	鉱物系絶縁油	—	2
SC 10 B	合成絶縁油	—	2
SC 10 C	気体絶縁油	—	1
TC 13	計 測 器	—	1
SC 13 A	積 算 計 器	—	4
SC 13 B	記 録 計 器	1	2
SC 13 C	電 子 計 器	1	—
TC 14	変 圧 器	1	6
SC 14 A	磁 性 鋼	—	—
SC 14 B	負荷時タップ切換器	—	1
SC 14 C	リアクトル	—	—
TC 15	絶 縁 材 料	—	1
SC 15 A	短 時 間 試 験	2	6
SC 15 B	耐 久 試 験	1	3
SC 15 C	仕 様	3	2
TC 16	端 子 記 号	2	—
TC 16 A	回転機の端子記号	1	—
TC 17	スイッチギヤ	—	1
SC 17 A	高 圧 用 "	3	6
SC 17 B	低 圧 用 "	3	7
SC 17 C	メタルクラッド	—	—
SC 17 D	低圧用封入形スイッチギヤ	—	2
TC 20	電力ケーブル	3	1
SC 20 A	高圧ケーブル	—	—
SC 20 B	低圧ケーブル	—	1
TC 22	変 換 装 置	—	1
SC 22 A	水銀アーク変換装置	—	—
SC 22 B	半導体変換装置	1	—
SC 22 C	イグナイトロン・エキサイترون	—	—
SC 22 D	電鉄用单相変換装置	—	—
SC 22 E	電子制御直流電源	—	3
TC 24	電気磁気量・単位	2	3
TC 25	文 字 記 号	1	13
TC 27	電 気 加 熱	—	1

TC 28	絶 縁 協 調	—	5
TC 30	超 高 圧	—	—
TC 32	ヒ ュ ー ズ	—	1
SC 32 A	高圧ヒューズ	—	2
SC 32 B	低圧ヒューズ	—	6
SC 32 C	ミニアチュアヒューズ	—	2
TC 33	電力用コンデンサ	1	5
TC 36	が い し	—	4
SC 36 A	ブ ッ シ ン グ	—	1
SC 36 B	架空線用がいし	1	2
SC 36 C	変電所用がいし	—	2
TC 37	避 雷 器	—	4
TC 38	計器用変成器	2	1
TC 41	保 護 継 電 器	—	—
TC 42	高 電 圧 試 験	—	—
TC 57	ライントラップ	1	1
TC 58	高導電材料の測定方法	—	1
TC 63	絶 縁 方 式	—	1
TC 66	電子測定装置	2	2

現在調査中の規格

○用語標準特別委員会

(1) 部門別電気用語集の編集

(2) ヒューズ専門用語

(3) 電気鉄道専門用語

(4) テレビジョン専門用語

(5) 照明専門用語

○積算計器標準特別委員会

(6) 長寿命普通電力量計 (L形単相2線式1素子単独計器ならびにL形単相3線式および三相3線式多素子単独計器)

(7) 寿命試験法

(8) 完全暴露形計器

○回転機一般標準特別委員会

(9) JEC-146回転電気機械一般の改訂

○静止誘導機器標準特別委員会

(10) リアクトル

○しゃ断器標準特別委員会

(11) JEC-145しゃ断器の改訂

○変換装置標準特別委員会

(12) サイリスタ変換装置 (その1: サイリスタを用いた順変換装置および他励式逆変換装置)

○保護継電器標準特別委員会

(13) 過電流継電器

(14) 電圧継電器

○負荷時タップ切換変圧器標準特別委員会

(15) 負荷時タップ切換変圧器

○がいし標準特別委員会

(16) 屋内断路器用がい管

(17) JEC-124 ブッシングの改訂

○電力用通信設備標準特別委員会

(18) 電力線搬送結合装置

○試験電圧標準特別委員会

(19) 耐電圧試験の意義

(20) 急しゅん波電圧の測定 (技術報告用)

(21) 絶縁試験法ハンドブックの編集

○電圧標準特別委員会

(22) 100 および 200 V に係る標準電圧

15. 調査研究

新設した委員会

(1) 照明情報計量化専門委員会 (調査, 9月)

(2) サイリスタ応用専門委員会 (調査, 9月)

(3) ハードコピー専門委員会 (調査, 9月)

(4) 周波数精密測定回路専門委員会 (調査, 12月)

(5) EHD 専門委員会 (調査, 3月)

解散した委員会

(1) 電車線磨耗特性専門委員会 (5月)

(2) オプトエレクトロニクス専門委員会 (9月)

(3) 文字図形自動認識専門委員会 (9月)

(4) DDC 技術専門委員会 (12月)

(5) 照明情報処理専門委員会 (3月)

(6) 原子発振器専門委員会 (3月)

調査を終了した項目

〔教育および研究〕

○情報技術の教育への利用

1. 教育工学に関する現状調査 (技報予定)

○研究者の能力開発

1. 電気系大学・産業界における研究者の能力開発に関するアンケート調査

〔電気物理〕

○放電

1. 低気圧気体の破壊電圧に関する Paschen 曲線のデータ調査

(CIGRE S. C. に発表)

2. 長間隙気中放電に関する文献調査 (文部省科研総合報告書に発表)

3. レーザによる気中放電とスイッチング特性

○電磁界理論

1. ビーム導波路の理論 (ビーム波伝送に関する研究会 I)

2. 半無限完全導体平板によるガウス波の回折 (同上研究会 I)

3. 放物筒形反射器をもつビーム導波管の理論 (同上研究会 II)

4. 不等間隔位相変成器によるビーム伝送波 (同上研究会 II)

5. 開放形電磁波伝送路 (同上研究会 III)

6. 活性レンズ状媒質に沿うビーム波 (同上研究会 III)

7. 運動媒質での電磁波の不安定性と作用 (運動媒質における不安定性に関する研究会)

8. 運動する分散性媒質内の不安定波 (同上研究会)

9. 導電性運動媒質内の増幅現象と a. c. MHD (同上研究会)

10. 運動する非線性媒質内での不安定波 (同上研究会)

11. ランダムなうねり曲りビーム導波路における電磁界の統計理論 (ランダム伝送路におけるゆらぎに関する研究会)

12. ランダム伝送路における波動伝搬理論 (同上研究会)

〔電気測定〕

○数字式電気計器

1. デジタル電圧計試験法 (技

報予定)

2. 国内外のデジタル電圧計調査 (同上)

○トレーサビリティ

1. 直流電位差計の校正方法

2. 直流標準電圧発生器の校正方法

3. 標準電池の管理と校正方法

4. 標準信号発生器の校正方法

〔電子回路〕

○標準電子回路

1. トランジスタチョッパ増幅器 (技報予定)

○電子回路部品

1. 回路部品用語 その1 (抵抗器, コンデンサ) (技報予定)

○集積回路

1. 集積回路の分類 (技報予定)

○原子発振器

1. ガス・セル用空洞共振器の設定

2. ガス・セル設計に関する調査

3. Rb 光スペクトルの微細構造調査

4. 試作 Rb 原子発振器の短期安定度測定

(以上とりまとめて技報予定)

〔電子装置〕

○電子管

1. 1968年度の電子管の進歩 (年報 44 年版)

○トランジスタ

1. 半導体用語集の追補・改訂 (電気専門用語集 No. 3)

○光情報信号変換装置

1. 光情報処理研究の動向 [第1部] (技報 93 号)

(1) 材料技術

(2) 方式関係

〔電気機器〕

○同期機

1. 大容量同期機に関する調査 (CIGRE に報告)

2. テストコード (技報予定)

絶縁試験 (1) 適用範囲, (2) 部分放電試験, (3) 交流電流

試験, (4) 絶縁破壊試験

○変圧器

1. 短絡時における変圧器巻線の機械的強度について (技報 89 号)

○避雷器

1. 低圧線の雷サージ保護に関する資料調査

○整流器

1. 半導体電力変換装置の過電流・過電圧保護に関する内外文献調査 (技報予定)

2. 半導体整流素子保護用ヒューズの特性表示および試験法に関する文献調査

3. 静止電力変換装置用語集 (電気専門用語集 No.9)

○しゃ断器

1. 再起電圧に関する規格, 試験法, 系統のデータ測定法, 計算法, アナライザについての各国文献調査

○制御機器

1. リミットスイッチの機械的仕様

○超電導マグネット

1. 超電導体の交流損失 (技報予定)

2. 超電導ケーブル (同上)

3. 欧米諸国における超電導研究の状況 (技報 93 号)

〔電 力〕

○発 電

1. 超音波法による水車流量測定 (技報 91 号)

○通 信

1. サイクリック・デジタル情報伝送装置仕様基準 (技報 91 号)

○給 電

1. 給電運用の自動化 (技報 II-18 号)

○工場配電

1. 単行本「工場配電」出版

○高電圧試験

1. 統計的耐雷設計に関する計算法 (技報予定)

2. OF ケーブルの開閉インパルスに対する絶縁強度 (技報予定)

3. 油入機器内部絶縁開閉サージフラッシュオーバー特性 (技報 89 号)

4. 統計的手法による開閉サージフラッシュオーバー確率の計算法 (技報予定)

○直流送電

1. 1969 CIGRE SC 14 論文調査

2. IEE サイリスタ関係大会論文

の調査

〔電気鉄道〕

○新き電方式

1. AT, RP 方式の用語選定 (用調委へ提出)

2. RP 方式の保護協調 (技報予定)

3. AT, RP 方式の経済性 (同上)

〔電気材料〕

○絶縁材料耐熱性試験法

1. 金属基板およびガラスクロスを用いた絶縁ワニス耐熱性試験としての曲げ試験法の検討

○電気機器用アルミニウム導体

1. ろう接性に及ぼす湿熱サイクルの影響

2. ろう接性に及ぼす油中浸漬の影響

3. ろう接性に及ぼす塩水噴霧の影響 (以上をとりまとめて技報予定)

○絶縁材料コロナ劣化

1. 集中法電極による寿命の協同試験と結果の検討 (技報 90 号)

○絶縁材料トリイニング

1. 電気絶縁材料のスクリーニングテストとしてのトリイニング試験方法を中心とした調査研究

○ベリリウム銅合金

1. ベリリウム銅の使用上の問題点とその対策

〔電力応用〕

○製鉄工業

1. サイリスタ装置使用状況

2. 自動運転設備の使用状況

3. 製鉄工業における電圧変動

〔オートメーション〕

○論理装置の設計製造の自動化

1. 自動製造, 検査設備

2. 診断技術

3. 設計・製造自動化システムの体系化 (以上をとりまとめて技報 94 号予定)

○文字図形自動認識

1. 文字図形の自動認識 (技報 92 号)

○DDC 技術

1. DDC 技術の現状と関心 (技報 92 号)

〔原子力〕

○核融合

1. 炉工学関係論文調査

2. RF 閉じ込めと加熱に関する調査

〔情報処理〕

○ハードコピー

1. ハードコピーの範囲

研究専門委員会研究発表項目

○電気音響研究専門委員会

(1) 標準マイクロホンの安定性について

(2) 近傍音場における周波数偏移のヘウリング抑圧効果について

(3) 拡声用スピーカのサイドロープの抑圧

(4) 線スペクトル定常騒音の自動制御系の動作について

(5) 変圧器騒音自動制御の実地予備実験

(6) 指向性音源の小形広帯域化に関する若干の検討

(7) マイクロホンの指向特性の主観評価

(8) 母音の個性について

(9) 単語中の母音識別の一方式

(10) 単語音声のセグメンテーションの一方法

(11) スピーカの非直線歪

(12) 実口レスポンスに対する送話器の回折効果について

(13) 早稲田大学に新設された無響室, 残響室の音響特性

(14) 側音妨害のオピニオン評価について

(15) 高速フーリエ変換を利用した船舶航走音の分析

(16) 感圧トランジスタを用いた機械・電気変換ユニット

(17) スピーカコーンの2階近似振動方程式の固有値と共振周波数との関係について

(18) 直線配列音源の振動速度偏差の音場におよぼす影響

(19) 武威工業大学新音響実験室について

(20) 単語音声のセグメンテーションに関する一考察

(21) 空中音で励起された板振動による音の放射について

(22) 実口および擬似口に対する各種形状物体の回折係数について

(23) 不等間隔配列形指向性音源の死角方向減衰量と帯域幅との関係について

(24) パイオニア(株)広島試験室の音響特性

(25) 障壁の遮音について

(26) 複合音によるマスキングについて

(27) 母音周波数スペクトルのthinningについて

(28) 線スペクトル騒音の能動制御における付加音源群の調整方式について

(29) 指向性合成による変圧器騒音の自動制御に関する実地試験

(30) 膨脹型消音器の音響特性におよぼす気流の影響

(31) 拡声電話機設計法の考察
○回路とシステム理論研究専門委員会

(1) 右半面極を有する遅延平坦フィルタ

(2) 有向グラフの単純な道に関する考察

(3) ハイブリッド分解によるLC二端子対網の合成に関する二三の考察

(4) 線形代数方程式系の有向グラフの理論的取扱いについて

(5) 定係数線型微分方程式をみたす波形の標本化定理

(6) 分布映像パラメータによる不均一分布回路の表現

(7) 非線形 Volterra 形積分方程式で表わされるシステムの解析(I)

(8) (m, n) -ポートの映像パラメータ

(9) 映像インピーダンスによる3線条バルンの考察

(10) 多線条線路内姿態の終端負荷

(11) RC 分布定数回路網の構成と試作(I)

(12) 3-Port ジャイレータ

(13) Active Rotator を用いたRC 伝送回路について

(14) 時間領域特性近似の一方法

(15) VHF 帯における遅延等化器

(16) デジタルフィルタの基礎的一検討

(17) 二変数リアクタンス四端子網の構成

(18) 非線形 Volterra 形積分方程式で表わされるシステムの解析(II)

(19) 非線形回路の直流解析プログラムについて

(20) 線形回路の状態変数解析プログラムについて

(21) 逆行列の多次元幾何的算定に関する一考察

(22) 一様構造グラフにおける最小実現問題

(23) 能動回路のトポロジカル合成に関する基礎的考察

(24) RC 分布定数回路網の構成と試作(II)

(25) 回路網の節点消去による解析法について

(26) Cut-Set-Graph

(27) 係数可変型能動RC 炉波器の構成法

(28) ニコルス線図を用いた能動

端子対回路の図式解法

(29) リアクタンス2端子の素子値に対する二、三の定理

(30) 抵抗回路網における回路関数の変動について

(31) 共役回路網の概念およびその相反定理と素子感度解析への応用

(32) 逆行列の多次元幾何的算定に関する一考察

(33) 方向性通信網の等価回路

(34) 節点行列の階数について

(35) 分布網の要素消滅にともなう連結度の変化

(36) グラフ理論におけるシンプレックス法パスおよびカットセットの最大最小問題の統一的考察

(37) 多重フロウの min-Cut 定理について

(38) 枝行列の小行列式と木、2-木との関係について

(39) 保エネルギー変換回路網の情報処理機能

(40) Active Impedance Rotator の性質と構成方法

(41) 有向閉路をもたないグラフの生成

(42) 木集合と2-木集合との対応について

(43) 2木集合 $T_{i,j,0}$ の一実現法

(44) ある Simple Graph の Matching のとれる確率

(45) 線形時変素子を含む断続回路の状態変数解析

(46) スイッチを含むジャイレータフィルタの状態変数解析

(47) RC 分布線路を用いた伝送回路網の合成法

(48) 分布RC線路を用いた能動フィルタの構成

(49) 再結合過程を考慮した半導体素子のモデル化理論

(50) MAS リードオンリメモリ

(51) 高周波用能動波回路

(52) ジャイレータを用いた定抵抗回路網

(53) ダイナミカルシステムの状

状態数解析について

(54) サイリスタおよびダイオードを含む回路の計算機解析

(55) アバランシエ・ダイオードの出力飽和現象および周波数依存性

(56) 制御系の等価性について

(57) 飽和を含む非線形制御系の安定条件

(58) Conjugate gradient 法の 2 レベル制御への適用について

(59) 有色雑音に対する最適線型 Smoothing とその感度解析

○誘電材料導電特性研究専門委員会

(1) 液晶の諸性質

(2) ポリエチレンの電気伝導における環境効果

(3) 絶縁処理用高分子における自由体積効果

(4) ゴム・プラスチックの極性効果における温度依存性

(5) 電圧極性反転法によるイオン移動度の求め方に対する一考察

(6) 高分子エレクトレットの脱分極電流

(7) 高分子の誘電緩和

(8) 酸化珪素蒸着膜の絶縁破壊電圧特性

(9) SF₆ 封入 PE テープ巻絶縁体の放電による $\tan \delta$ 上昇および IEEE 1969 Summer Power Meeting "Insulated Conductor" Session における二、三の話題

(10) 高分子絶縁物の電気伝導機構と破壊

(11) コメント: ポリエチレンの電子伝導

(12) 高分子の X 線、放射線電気伝導

(13) 酸化ポリエチレンの過渡電流特性

(14) 最近の有機半導体

(15) 有機半導体の電気伝導

(16) 液晶とその応用

(17) レーザによる電離と破壊

(18) 有機絶縁物のトリイニング

について

(19) SF₆ ガス中の絶縁材料のコロナ劣化

(20) SF₆ ガス中の有機絶縁材料の劣化

(21) 高絶縁ガスケープルの絶縁特性

(22) 高分子のイオン伝導

(23) IEEE NEMA 主催米国電気絶縁会議の概況紹介

(24) 固体絶縁物の水蒸気吸着と表面伝導

(25) 高分子フィルムの焦電性と圧電性

(26) 高分子の帯電と化学構造

(27) プラスチック・エレクトレット分極特性

(28) 高分子の堆積電荷の減衰過程

(29) 絶縁物への電荷帯電後の電位減衰特性

(30) 電気伝導からみた直流ケーブルの問題点

○非線形磁気応用研究専門委員会

(1) 磁心の雑音

(2) 角形ヒステリシス磁心の部分磁化に関する実験的考察

(3) 磁気アナログ記憶素子のヒステリシス特性

(4) 等価磁心抵抗と跳躍特性の関係

(5) パラメトリック単相多相変換器を用いた多相パルス発生装置

(6) 垂直磁界印加による磁束パターン読み出し

(7) 3 変数乗算特性を有するアナログメモリ

(8) 磁心による音声合成

○電力系統工学研究専門委員会

(1) 1969 Power Industry Computer Applications (PICA) Conference (I)

(2) 1969 Power Industry Computer Applications (PICA) Conference (II)

(3) 1969 Power System Com-

putation Conference (PSCC) (I)

(4) 1969 Power System Computation Conference (PSCC) (II)

(5) イタリア電力公社 (ENEL) の紹介

○プログラム研究専門委員会

(1) デジタル計算によるグラフ理論の応用方法

(2) 非連結グラフを含むネットワークの解析法

(3) The Role of the Computer in Industrial Engineering

(4) 情報検索

(5) FACOM 230-60 の TSS について

(6) 1969 年 IEEE Winter Power Meeting に出席して

(7) NEAC-シリーズ 2200 PIA System アウトプット例

(8) 電力系統における構成変化による汭流状態のアップデートのためのデジタル手法について (1)

(9) IR とファイルシステムについて

(10) The Illiac IV Computer

(11) 電力系統における構成変化による汭流状態のアップデートのためのデジタル手法について (2)

(12) 有限要素法による連続体解析

(13) PSP (Power System Planning)

(14) 心電図表現の一方法について

(15) 供給予備力と連系容量について

(16) 大回路ディジコンによる一解法

(17) 二次方程式の誤差論

(18) 電力系統シミュレーションのプログラムシステム

(19) JICST における情報検索サービス計画

(20) 回路解析用プログラム

(ECAP)

(21) 心電波形の解析

調査中の項目

〔教育および研究〕

○情報技術の教育への利用

1. 教育工学と教育設備
2. 授業環境（視聴覚設備とそのリフト）
3. 情報技術を採り入れた教育用装置（以上をとりまとめて単行本とする予定）

○研究者の能力開発

1. 研究者適性の発見
2. 研究者の能力開発
3. 研究者の能力開発のための管理

〔電気物理〕

○放 電

1. 放電ハンドブックの改訂
2. 長ギャップ気中放電の実験的・理論的研究
3. 高気圧気体中のコロナおよび火花放電

4. 油中コロナ放電と固体破壊

5. その他放電現象一般

〔電気測定〕

○電気磁気精密測定

1. 電気の標準に関する諸問題
2. 直流からレーザまでの精密計測に関する諸問題

3. 電子応用計測に関する諸問題

○トレーサビリティ

1. 標準コンデンサ、交流ブリッジおよび標準抵抗器の管理と校正方法

2. 直流ブリッジ、標準分圧器、交流電圧電流、電子電圧計、高周波電力計および減衰器の校正方法

〔電子回路〕

○標準電子回路

1. 開閉制御形安定化電源
2. IC 化回路

○電子回路部品

1. 電子回路部品の信頼性の問題
2. 電子回路部品の動向調査
3. 回路部品用語 その2（インダクタンス、その他一般）

○集積回路

1. 集積回路用語

2. 集積回路の動向調査

3. マイクロ波 IC の調査

○ IC 機能開発

1. 電子回路大規模化の対策
2. 計算機の将来像
3. 空間回路網技術
4. 生物の情報処理
5. 各種新機能素子

○機械振動系機能部品

1. 固体遅延線、表面波遅延線
2. セラミック振動子、高結合振動子

3. 温度補償水晶発振器

4. 新しい圧電材料

5. 火発発生器

6. 圧電パラメトリック増幅器

〔電子装置〕

○電子管

1. 1969年度の電子管の進歩状況
2. 電子管部品の精密加工法
3. マイクロ波管の応用

○電子管材料

1. 金属材料、けい光体、電子放出陰極、ガラス、ゲッタ、その他

○トランジスタ

1. マイクロ波トランジスタの製法、周波数限界

2. LSI の製造法および回路（バイポーラ、MOS 形製法、CAD 設計）

3. MIS 構造（境界面物性およびデバイス）

4. その他（GaAs デバイスなど）

○光電情報信号変換装置

1. 光情報処理研究の動向（第2部）——CATV、赤外可視変換けい光体など）

〔電気機器〕

○同期機

1. テストコード審議
(1) 特殊試験（振動、騒音、高周波）

- (2) 励磁系特殊試験

○誘導機

1. テストコード審議

○直流機

1. 等価温度試験法

2. テストコード審議

○変圧器

1. 油入変圧器運転指針

○避雷器

1. がい管汚損時の放電特性
2. 急しゅん波頭放電特性と他機器の絶縁協調

3. 断路器サージによる避雷器多重動作責務

4. SF₆ 避雷器ギャップの放電特性としゃ断性能

5. 海外文献調査

○整流器

1. 国内、国外文献調査

○電力用コンデンサ

1. 電力用コンデンサの設置、運転状況に関するアンケート結果の検討、取りまとめ
2. キュビクル内収納コンデンサの温度上昇

○磁気増幅器

1. 磁気増幅器の信頼性

2. 三相用鉄心

○しゃ断器

1. 再起電圧に関する文献調査

○制御機器

1. 制御器具の故障実態調査
2. 電圧変動による電磁器具の動作特性変化

3. 制御器具の無接化の動向

○ヒューズ試験法

1. 限流ヒューズの直流しゃ断現象

2. 半導体保護用ヒューズの溶断特性

3. 半導体保護用ヒューズのしゃ断現象

○超電導マグネット

1. 電気機器への応用
2. 超臨界ヘリウムによる冷却
3. 超電導材料
4. 超電導の物性

〔電 力〕

○発 電

1. 水車発電機軸受温度の調査
○送 電
1. 架空送電線のギャロッピング
○変 電
1. 変電所の騒音対策, 地震対策
○通 信
1. 情報システム連続自動監視制御方式
2. 自動給電のための制御用電子計算機と情報伝送系とのインタフェイス
○給 電
1. 給電用語の解説
2. 系統の自動監視, 操作
○工場配電
1. 粉じんの多い工場の配電設備
2. 変電所の省力化
3. 工場における配電系統の信頼性の評価方法
○高電圧試験
1. 絶縁設計の統計的取扱い法
2. HVDC の絶縁ならびに高電圧試験法
3. 内外の高電圧試験技術の調査
4. ゴムプラスチック電力ケーブル高電圧試験法
5. メチラン法, Cab-o-sil 法, 塩霧法, 等価霧中法など人工汚損試験法間の関連
6. 電圧印加法ならびに耐電圧の決定
7. 開閉インパルスに対する外部絶縁設計
8. SF₆ ガスの開閉インパルスフラッシュオーバー特性
9. 実系統の開閉サージ
10. 統計的手法による送電線路汚損フラッシュオーバー確率の計算
11. EHV 系統の絶縁協調
○直流送電
1. 1970 年 IEEE, CIGRE 直流関係論文の調査
〔電気鉄道〕
○新き電方式
1. AT 方式の諸特性
2. 電車運転用電力系統と商用周

波電力系統との協調
3. 新き電方式設備に関する関連法規
〔電気材料〕
○磁性材料
1. 磁気ひずみと変圧器騒音との関係
2. カットコア磁気試験法
○絶縁材料耐熱性試験法
1. 絶縁ワニスの耐熱性試験法
(1) 絶縁耐力試験
カーブ電極法
(2) " 平円板電極法
(3) 加熱重量減少法
2. 最近の耐熱性エナメル線に関する文献調査
○絶縁材料コロナ劣化
1. 各種材料のボイドコロナ劣化の協同試験の結果の検討 (寿命に関する周波数, 電圧, 試料貼合せグリースなどの効果)
○絶縁材料トリリーニング
1. トリリーニング試験方法の改善, 拡張
2. トリリーニングの性状
○ベリリウム銅合金
1. ベリリウム銅の設計の基礎となるデータ
2. 外国規格の調査
〔電力応用〕
○製鉄工業
1. 製鉄工業電気室の環境
2. 鉄鋼用高圧閉鎖配電盤の標準
○電気集じん装置
1. Rapping 強度ひんどの設計指針
2. 壁抜がいし
3. アンケートによる電気集じん設備の調査
4. 一次側電圧・電流および直流側電圧・電流の表示方法
〔原子力〕
○原子力発電所制御
1. 新形転換炉の動特性, 制御
2. 高速増殖炉の動特性, 制御
○原子力計測

1. 放射線測定器の高速化
2. 放射線測定におけるデータ処理
3. 半導体検出器
○核融合
1. 核融合炉の工業的問題
2. 核融合研究における高周波技術の応用
〔情報処理〕
○ハードコピー
1. 評価法
2. 内外のハードコピー機器の調査
3. ハードコピーに対する要求
公開技術会合・研究会など
技術委員会および専門委員会が主催して行なった技術討議会, シンポジウム, 研究会ならびに見学会などはつぎのとおりである。
〔技術討議会, シンポジウムなど〕
(1) 第2回自動検針技術討議会 (6月, 電気測定技委)
(2) 長ギャップ気中破壊放電に関するシンポジウム (3月, 放電専門委と放電研究グループ共催)
(3) 第2回絶縁材料シンポジウム (10月, 電気材料技委)
(4) 超電導講習会 (10月, 超電導マグネット専門委)
〔研究会・懇談会など〕
(1) 放送大学について (2月, 教育研究技委)
(2) 発光現象懇談会 (6月, 7月, 照明技委)
(3) 新しい送電方式について (2月, 電線技委)
(4) 光情報処理の諸問題 (9月光電情報信号変換装置専門委)
〔見学会〕
(1) 霞ヶ関三井ビル電気設備 (9月, 電力技委)
(2) 航空宇宙技研 (8月, 照明技委)
(3) 国鉄房総西線 RP 方式電化設備 (10月, 電気鉄道技委)
(4) 電力中研農業電化研究所

(7月, 電力応用技委)

(5) 原研高崎研究所 (9月, 原子力技委)

(6) 東大宇宙航研 (7月, 電気磁気精密測定専門委)

(7) 電気通信研究所 (10月, 電子管専門委)

(8) 昭和電工大町工場 (8月, ヒューズ試験法専門委)

(9) 喜撰山発電所建設所 (4月 発電専門委)

(10) 西堀(変)のSF₆ガス絶縁66 kV ミニクラッド, 目白(変)のエポキシ樹脂絶縁 22 kV ミニクラッド (変電専門委)

(11) 四国電力自動給電システム (8月, 給電専門委)

16. 国際会議

IEC 関係

第34回大会は, 1969年11月3日より13日までイラン国テヘラン市で開催された。開かれた TC の数は11会, SC の数は16会で, 総会・理事会も同時に開催された。当会の関係する委員会としては, 図式シンボル, 絶縁油, 低圧ケーブル, 電磁気量および単位, 文字記号, 電気加熱, ヒューズ, がいいし, ライントラップなどの各委員会が開催され, 後藤以紀(明大), 山岡道彦(富士電機), 中村 泰(富士通), 徳永英二(日本IBM)の諸君が代表として出席された。

なお, 大会時以外に開催された TC および SC には, それぞれ次のように出席されている。

	委員会名	開催日および場所	出席者
SC 22 B	半導体変換装置	5月12日～17日 ザグレブ市	山田 直平 (東大) 太田 寿 (東芝)
TC 22	変換装置	5月19日, 24日 ザグレブ市	山田 直平 (東大)
SC 22 E	安定電源	5月20日～24日 ザグレブ市	菊池 通博 (電電公社) 袖野 徳守 (新電元工業)

TC 13	測定装置	6月10日, 20日 ウィーン市	原田 俊一 (計器検定所)
SC 13 A	積算計器	6月10日～13日 ウィーン市	後藤 哲夫 (大崎電気)
SC 13 B	記録計器	6月16日～19日 ウィーン市	原田 俊一 (計器検定所)
TC 8	標準電圧・周波数	9月22, 23日 メルボルン市	中島 好忠 (横浜国大)
TC 28	絶縁協調	9月24日～27日 メルボルン市	河村 達雄 (東大)
SC 22 D	電鉄用サイリスタ	6月24日～27日 ロンドン市	池田 吉亮 (横浜国大) 川添 雄司 (国鉄)
TC 31	防爆電気機器	5月12日～14日 ブラッセル市	田中 隆二 (安全研)

CIGRE 関係

第23回大会は, 1970年8月24日より9月2日までパリ市で開催されるが, 本年はこの大会に提出する論文の選考を行なった。候補論文20編のうち投票により次の6編が選ばれ, CIGRE 本部に提出された。

1. Synthetic Testing of A. C. Circuit Breakers Fitted with Shunt Resistors.

By M. Hosokawa, S. Yamazaki, Y. Nakano, J. Tomiyama and M. Oyama

2. Development of Thyristor Converter and Digital Computer Control for HVDC Transmission.

By K. Hidaka, H. Kondo, T. Horigome, N. Ito and T. Sugawara

3. Recent Technical Progress of High Voltage Power Cable in Japan.

By S. Takahashi

5. Study Result of Bulk Tower and Present Status of EHV 500 kV Transmission Lines Construction in Japan.

By A. Matoba, K. Aiki, H. Sugaya and K. Kaneko

5. Laboratory Study on Dead Time of High Speed Reclosing of 500

kV Systems.

By M. Fukunishi, K. Anjo, H. Terasa, Y. Ozaki, K. Yano and Y. Kawaguchi

6. Switching Surge Reduction with Circuit Breaker Resistors in Extra-High-Voltage Systems.

By S. Fukuda, Y. Ozaki, K. Furuno, M. Fukunishi, K. Anjo, O. Taguchi, H. Kinoshita and A. Tanaka

また, 本年度開催された Study Committee への出席状況は, 次のとおりである。

SC No.	委員会名	開催日および場所	出席者
14	AC/DC Converting Plant	5月27日～6月2日 Volgograd (ソ連)	山田 直平 (東大) 三宅 義照 (電機) 岸 敏二 (東芝) 高林 乍人 (日立)
15	Insulating Materials	5月8日 Rome (イタリア)	中牟田昌治 (日立) 松岡 昭 (鐘化)
32	System Planning and Operation	5月25日～29日 Philadelphia (アメリカ)	杉本 勉 (中部電) 水島 都香 (東芝) 齊藤 進 (国鉄)
33	Overvoltages and Insulation Co-ordination	9月15日～21日 Sydney (オーストラリア)	中島 好忠 (横浜国大) 河村 達雄 (東大)
34	Protection, Automation and Remote Control Devices	5月5日～10日 Schavengen (オランダ)	中島 隆雄 (電安) 安藤 文郎 (東芝)

UIE 関係

第7回大会は, 1972年ワルシャワにて開催される予定である。本年は同大会に提出を希望する候補論文の募集を行なった。電気加熱技術協会では, 電気学会電気化学電熱技術委員会と共同して候補論文の国内発表会を開催し, 提出論文を選考することになっている。

また同協会では, UIE 本部よりの要請により, UIE 大会の日本開催の可能性を検討している。

その他の会議

本会を通じて代表が出席した国際

会議に、次のようなものがあった。

会 議 名	開催月日 および場所	出席者
第2回システム科学国際学会	4 月 ハワイ市	竹田 宏 (東 北 大)
計算機利用回路設計国際会議 電子部品国際会議	4月15日～18日 ロンドン市 4月30日～5月2日 ワシントン市	松本 伍良 (北海道大)
国際ルミネセンス会議	8月25日～ ニューヨーク市	三橋 広二 (静岡 大)
第16回国際電波科学連合	8月18日～30日 アメリカ	吉賀 逸策 (国際電々)
海洋工学国際会議	12月10日～12日 マイアミ市	本間 琢也 (電 試)

17. 通信教育

受講生の概況 当年度内新入受講生は、大学講座1,017名、工高講座1,290名、また、修了者は、大学講座4,731名、工高講座3,632名であって、期末現在数は、大学講座5,137名、工高講座4,985名で、総数10,122名である。講座別内訳は次のとおり。

講 座 別	新入生数	修了 生 数	期 末 現在数
電 気 理 論 第1科	342	2,833	1,646
同 第2科	75	129	302
電気磁気測定第1科	65	391	459
同 第2科	46	63	90
電 気 機 器 第1科	91	462	551
同 第2科	15	31	67
発 変 電 第1科	35	160	384
同第2科(火力)	2	6	4
同第3科(原子力)	10	10	51
送 配 電 工 学	46	144	505
電 気 材 料	13	46	157
高 電 圧 工 学	12	9	47
電 気 鉄 道	9	49	167
電 気 応 用 第1科	47	69	138
同 第2科	54	70	44
電 気 法 規	30	92	223
電 子 工 学 第1科	125	167	288
同 第2科	0	0	8
大 学 電 気 数 学	0	0	6
(大学講座小計)	(1,017)	(4,731)	(5,137)
工 高 第1科	343	2,312	1,106
同 第2科	260	352	1,248
同 第3科	266	428	1,072
同 第4科	132	151	752
同 第5科	193	160	275
電 気 数 学	96	229	532
(工高講座小計)	(1,290)	(3,632)	(4,985)
合 計	2,307	8,363	10,122

教材の出版 当年度内に発行された教材は、初版の教科書10点、学習指導書13点、また、重版では教

科書65版内訳は次のとおり。

初版教科書

- (1) 静止電力変換装置
- (2) 電離気体論
- (3) 電気応用
- (4) 電子回路工学
- (5) 電気工学概説
- (6) 拡張アルゴリズム
- (7) 高電圧工学
- (8) 工業計測
- (9) 電気法規・技術基準解説
- (10) 電気施設管理・電気法規解説

説

学習指導書

- (1) 測定値の統計的処理
- (2) 電気測定法
- (3) 静止電力変換装置
- (4) 水力発電
- (5) 配電・屋内配線
- (6) 半導体電子回路
- (7) 基礎電磁気学
- (8) 電気施設管理・法規解説
- (9) 電子回路
- (10) 電子応用
- (11) 電子工学概論
- (12) 電気法規
- (13) 電子機器

重版教科書

- (1) 電気磁気学 (8～10 版)
- (2) 電気回路論 (78・79 版)
- (3) 過渡現象論 (56 版)
- (4) 放電現象 (50 版)
- (5) 基礎電子工学 (33・34 版)
- (6) 基礎電磁気学 (2・3 版)
- (7) 応用計測 (22・23 版)
- (8) 配電・屋内配線 (2 版)
- (9) 電気計測器 (5 版)
- (10) 電気機器工学 I (7～9 版)
- (11) 同 II (6 版)
- (12) 電気機械工学 (3・4 版)
- (13) 有線通信 (9 版)
- (14) 無線通信 (6 版)
- (15) 電子計算機 (2 版)
- (16) 電熱工学 (27 版)
- (17) 電気施設管理 (2 版)
- (18) トランジスタ (31・32 版)

- (19) 改訂電気材料 (29・30 版)
- (20) 電気材料便覧 (5 版)
- (21) 電気設備技術基準 (2 版)
- (22) 照明工学 (16 版)
- (23) 電磁気計測 (9～11 版)
- (24) 発変電工学 (5・6 版)
- (25) 電機設計概論 (4 版)
- (26) 電子回路 (2・3 版)
- (27) 送電工学 (7・8 版)
- (28) 電気数学 I (1 版)
- (29) 同 II (1 版)
- (30) 同 III (1 版)
- (31) 回路網理論 (2 版)
- (32) 電子工学概論 (2・3 版)
- (33) 交流理論 (6・7 版)
- (34) 電気理論 I (45 年度版)
- (35) 同 II (")
- (36) 電気計測(改訂) (")
- (37) 電気機器 I (")
- (38) 同 II (")
- (39) 発送配電 I (")
- (40) 同 II (")
- (41) 電気応用 (")
- (42) 電子工学 (")
- (43) 電気材料 (")
- (44) 自動制御 (")
- (45) 電子現象 (")
- (46) 電子機器 (")
- (47) 電気法規 (")

検定教科書 昭和 45 年度工業高等学校教科書の総供給数は 167,500 冊で、内訳は次のとおりである。

電気理論 I	18,500 冊
電気理論 II	18,000 冊
電気計測	19,000 冊
電気機器 I	19,500 冊
電気機器 II	19,000 冊
発送配電 I	15,000 冊
発送配電 II	12,500 冊
電気応用	11,000 冊
電子工学	2,000 冊
電気材料	5,500 冊
自動制御	17,000 冊
電子現象	2,000 冊
電子機器	2,000 冊
電気法規	6,500 冊

合 計 167,500 冊

通信教育行事

(1) 昭和44年4月20日 文部省主催春季全国大会および文部大臣表彰式が開催され大学講座7名、工高講座6名合計13名が受賞。

(2) 昭和44年4月20日 国立教育会館においてスクーリングを開催。

(3) 昭和44年10月12日 静岡市伝馬町小学校において、静岡県主催秋季大会およびスクーリングを開催。

(4) 昭和44年10月19日 大津市打出中学校において、文部省主催秋季全国大会およびスクーリングを開催。

18. その他

他の関係学術団体主催の行事等に対し、共催または協賛などにより協力した主なるものは、次のとおりである。

(1) 日本学術会議研究連絡委員会分科会委員の推薦

(2) 文部省科学研究費等審査委員候補者の推薦

(3) 英国電気学会雑誌特価購入の斡旋

(4) 原子力総合シンポジウム

(5) 品質管理大会

(6) 標準化全国大会

(7) 鋼管構造設計講習会

(8) 電気記念日行事

(9) 80才以上の電気功労者の推薦

(10) 量子エレクトロニクス国際会議組織委員会実行委員会委員の推薦

(11) 東洋レーヨン科学技術研究費助成候補者の推薦

(12) 印度工学会創立50周年式典への祝辞贈呈

(13) 関係学協会行事の周知

役員改選報告

会長—山田直平、副会長—吉山博

吉、法貴四郎、総務理事—関 壮夫、会計理事—浅川七平、編修理事—雨宮好文、中村 宏、調査理事—日高一彦、監事—斎藤成文の諸君が昭和45年5月の通常総会で任期満了となるので、改選の結果次の諸君が当選した。

会 長 駒井健一郎 (日立)

副 会 長 関 四郎 (明電舎)

同 稲田 豪吉 (関西電力)

総務理事 岡部 実 (東京電力)

会計理事 林 正己 (鉄道技研)

編修理事 尾出 和也 (電力中研)

同 三浦 武雄 (日立)

調査理事 中島 達二 (電試)

監 事 北村 泰男 (富士電機)

投票総数は8,633票で、投票率は53.4%であった。

支部役員改選結果

支部役員半数改選の結果、次の諸君が当選した。(○印は本部評議員兼任者、*印は支部長推薦支部評議員)

(1) 東京支部

支 部 長 森 英夫 (電試)

庶務幹事 飯塚喜八郎 (東電)

会計幹事 原田 達哉 (電力中研)

評 議 員 ○安藤 安二 (三菱電機)

同 ○井関 昇 (富士電機)

同 ○大谷 和夫 (東芝)

同 川口 芳弘 (東芝)

同 佐藤 恒徳 (国鉄)

同 都築 旋二 (電力中研)

同 ○鶴見 策郎 (東京理大)

同 芳賀 輝夫 (日立)

同 ○深尾 毅 (東工大)

同 若松 清司 (電試)

(2) 関西支部

支 部 長 吉田 洪二 (大阪府大)

庶務幹事 河村 孝夫 (大阪府大)

会計幹事 深津 啓典 (関西電力)

評 議 員 ○安藤 慶一 (大阪市大)

同 ○卯本 重郎 (京大)

同 氏谷 正元 (住友電工)

同 深田正雄 (松下電器産業)

同 元木 幹雄 (同志社大)

同 ○森井 清二 (関西電力)

(3) 九州支部

支 部 長 大橋 章男 (九大)

庶務幹事 今崎 正秀 (九州工大)

会計幹事 吉田 威彦 (九州電力)

評 議 員 金倉三養基

同 ○相田 貞蔵 (熊本大)

同 富安 隆一 (長崎大)

同 ○野中作太郎 (九州工大)

同 梅津 長徳 (宮崎大)

(4) 東北支部

庶務幹事 千葉 二郎 (東北大)

会計幹事 伊藤 祐一 (東北電力)

後藤 幸弘 (東北大)

評 議 員 佐藤慎一 (岩手県企業局)

同 瀬戸正男 (東北電気工事)

同 鳥羽 重幸 (日本大学)

同 内藤 正美 (福島高専)

同 藤野 英一 (東北工大)

(5) 東海支部

支 部 長 福西 道雄 (中部電力)

庶務幹事 田中 裕二 (名大)

会計幹事 常広 譲 (名工大)

評 議 員 ○上野 立雄 (東芝)

同 小木曾敏三郎 (信州大)

同 田中美智敏 (名古屋大)

同 野畑 金弘 (静岡大)

同 ○丸勢 進 (名大)

(6) 中国支部

支 部 長 熊野一夫 (中国電気工事)

庶務幹事 本田 公韶 (中国電力)

会計幹事 榊 茂忠 (広島工大)

評 議 員 大島準一郎 (鳥取大)

同 ○大野木幸男 (広島大)

同 川本 文三 (広島工大)

同 斉藤 準蔵

(電気計器検定所)

同 ○松谷健一郎 (中国電力)

同 *那須 亮一 (川崎製鉄)

(7) 北海道支部

支 部 長 坂本 三郎 (北大)

庶務幹事 小川 雄一 (北大)

会計幹事 宮本 衛市 (北大)

評 議 員 鎌田 克夫 (北電)

同 田川遼三郎 (北大)

同 服部 耐吉 (室蘭工大)

同 山本 重枝(札幌通産局)
同 小池 明(国鉄)任期一年

(8) 北陸支部

支 部 長 井上 浩(富山大)
庶務幹事 前田 隆一(北陸電力)
会計幹事 別所 一夫(金沢大)
評 議 員 石橋 鎌造(金沢大)
同 京藤 陸重(金沢大)
同 齊藤 清吉(福井大)
同 篠島 宗雄()
同 前花 幸雄()

(9) 四国支部

支 部 長 仁田 工吉(徳島大)
庶務幹事 沖津 泰(徳島大)
会計幹事 西脇 正道(四国電力)
評 議 員 相原 恒博(愛媛大)
同 明石 松雄(四国電力)
同 小池 恒久(新居浜工専)
同 谷川 岳史(四国変圧器)
同 森沢 茂(住友共電)

昭和 45 年度役員

(左側 45 年度,
右側 45, 46 年度)

会 長 駒井健一郎
副 会 長 鳳 誠三郎・関 四郎
同 大谷 泰之・稲田 豪吉
総務理事 沢崎 憲一・岡部 実
会計理事 花形 澄・林 正巳
編修理事 駒宮 安男・尾出 和也
同 宮入 庄太・三浦 武雄
調査理事 岩田 隼・中島 達二
監 事 松田 新市・北村 泰男
支 部 長
(東 京) 森 英夫
(関 西) 吉田 洪二
(九 州) 大橋 章男
(東 北) 山内 俣
(東 海) 福西 道雄
(中 国) 熊野 一夫
(北海道) 坂本 三郎
(北 陸) 井上 浩

(四 国) 仁田 工吉
評 議 員

(東 京) 内山 光彦・安藤 安二
呉 文雄・井関 昇
中村 孔治・大谷 和夫
堀井 憲爾・鶴見 策郎
矢作吉之助・深尾 毅
(関 西) 川辺 和夫・安藤 慶一
黒田 一之・卯本 重郎
田村 良平・森井 清二
(九 州) 西見 幸生・相田 貞蔵
松村 敏三・野中作太郎
(東 北) 穴山 武・佐藤 慎一
三国文治郎・内藤 正義
(東 海) 林 清嗣・上野 立雄
藤本 正男・丸勢 進
(中 国) 姫井 豊治・大野木幸男
丸山賢三郎・松谷健一郎
(北海道) 桜庭 一郎・小池 明
(北 陸) 西村 尚和・石橋 鎌造
(四 国) 長山 健二・小林 邦博

昭和44年度会計報告

(1) 公益会計、収益会計、収支計算書

収入の部

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
会 費 収 入			
正 員 会 費	9,789,609	34,708,610	44,498,219
准 員 会 費	0	2,007,110	2,007,110
入 会 金	484,600	0	484,600
終身会費取らずし金	0	561,436	561,436
維 持 員 会 費	17,005,845	2,066,238	19,072,083
小 計	27,280,054	39,343,394	66,623,894
雑 誌 頒 布 収 入	0	3,071,302	3,071,302
図 書 " "	600,000	18,717,894	19,317,894
雑 誌 広 告 収 入	0	28,376,856	28,376,856
図 書 " "	0	1,248,000	1,248,000
雑 収 入	124,229	660,601	784,830
合 計	28,004,283	91,418,047	119,422,330
利 子 収 入	3,207,459	0	3,207,459
補 助 金	772,600	0	772,600
図 書 室 複 写 収 入	578,673	0	578,673
資金利子収入より繰入金	700,000	0	700,000
通信教育会 "	600,000	0	600,000
図書室設置資金 "	1,090,218	0	1,090,218
特別積立金 "	8,130,147	0	8,130,147
収益会計 "	750,000	0	750,000
総 計	43,833,380	91,418,047	135,251,427

支出の部

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
事 務 所 費	1,266,501	4,240,025	5,506,526
事 務 費	1,691,313	5,662,222	7,353,535
人 件 費	11,915,509	21,555,424	33,470,933
諸 税	4,621	15,469	20,090
諸 会 費	135,700	0	135,700
支 部 費	5,947,600	0	5,947,600
大 会 費	230,280	0	230,280
賞 金	862,876	0	862,876
複 写 費	329,251	0	329,251
図 書 室 費	4,733,884	0	4,733,884
電 気 規 格 調 査 会 費	5,265,528	0	5,265,528
調 査 研 究 委 員 会 費	8,957,902	0	8,957,902
調 査 雑 費	270,415	0	270,415
連 合 調 査 会 費	222,000	0	222,000
雑 誌 出 版 費	0	47,058,176	47,058,176
図 書 出 版 費	2,000,000	18,530,180	20,530,180
計	43,833,380	97,061,496	140,894,876
公益会計へ繰入金	0	750,000	750,000
合 計	43,833,380	97,811,496	141,644,876
差 引 不 足 金	0	- 6,393,449	- 6,393,449
総 計	43,833,380	91,418,047	135,251,427

(注) 収益会計の総収入および総支出金額は収益会計損益計算書に移す。

(2) 収益会計損益計算書 (自昭和44年4月1日
至昭和45年3月31日)

科 目	支 出	科 目	収 入
総 支 出	97,811,496	総 収 入	91,418,047
期首未収入金	10,393,732	期末未収入金	8,738,033
期首売掛金	4,885,725	期末売掛金	14,728,920
期首商品	6,859,763	期末商品	6,328,205
期末未払金	5,681,367	期首未払金	5,284,244
退職給与引当金繰入	700,000	価格変動準備金戻し入	270,000
価格変動準備金繰入	250,000	貸倒引当金戻し入	270,000
貸倒引当金繰入	420,000		
当期利益金	35,366		
合 計	127,037,449	合 計	127,037,449

(3) 収益会計利益金処分

当期利益金	35,366 円
前期繰越益金	1,615,878 円
合 計	1,651,244 円
之を次のごとく処分する。	
特別積立金	1,651,244 円
合 計	1,651,244 円

(4) 欠損処分

死亡、退会、除名による未納会費で収入の見込のない。	
正員会費	668 名 1,003,794 円
准員会費	94 名 53,125 円
合 計	762 名 1,056,919 円
を欠損処分とする。	

(5) 別途調査費

種 別	収 入			支 出	収 支 残 次年度繰越
	繰 越 金	受 入 金	計		
電食防止委	74,503	650,000	724,503	687,016	37,487
誘導調査委	518,731	998,900	1,517,631	1,108,281	409,350
CIGRE 国内委	1,504,987	2,909,000	4,413,987	1,631,448	2,782,539
電気加熱技術協会	47,990	1,572,006	1,619,996	1,381,700	238,296
合 計	2,146,211	6,129,906	8,276,117	4,808,445	3,467,672

(6) 資金利子

種 別	収 入			支 出	収 支 残 次年度繰越
	繰 越 金	利 子	計		
(1)賞金資金	241,522	96,690	338,212	19,000	319,212
(2)浅野資金	9,026	1,828	10,854	1,000	9,854
(3)日立資金	114,821	16,800	131,621	0	131,621
(4)日本発送電資金	2,500,848	400,000	2,900,848	500,000	2,400,848
(5)東北配電資金	140,203	100,000	240,203	100,000	140,203
(6)九州配電資金	233,575	73,000	306,575	200,000	106,575
(7)桜井資金	996,377	1,185,300	2,181,677	614,590	1,567,087
合 計	4,236,372	1,873,618	6,109,990	1,434,590	4,675,400

〔使途〕 (1)～(6) 賞金および賞牌作製費 (7) 電力関係国際会議出席費補助

(7) 事務所移転別途会計 (昭和44年10月1日より昭和45年3月31日まで)

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
移 転 諸 経 費	1,551,090	事務所移転別途資金	2,648,750
会議室造作費	790,000	移 転 料	1,000,000
倉庫造作費	530,000	坪数減少補償金	1,548,750
倉庫工事負担金	119,235	雑 収 入	100,000
諸 雑 費	111,855		
倉庫設備費	1,097,660		
倉庫敷金	324,660		
倉庫協力金	773,000		
合 計	2,648,750	合 計	2,648,750

〔注〕 旧事務所敷金 1,946,250円は新事務所の敷金として引継ぎ、倉庫設備費 1,097,660円は貸借対照表資産の部に計上

(8) 貸借対照表 (昭和45年3月31日)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
科 目	公 益	収 益	計	科 目	公 益	収 益	計
現 金	47,214	0	47,214	未 払 金	0	5,681,367	5,681,367
銀 行 預 金	2,215,116	0	2,215,116	前 受 金	3,299,050	2,448,649	5,747,699
信 託 預 金	18,054,663	0	18,054,663	仮 受 金	333,045	3,492,847	3,825,892
振 替 預 金	287,321	0	287,321	納 税 預 り 金	903,255	0	903,255
売 掛 金	0	14,728,920	14,728,920	納 税 引 当 金	0	239,400	239,400
未 収 入 金	0	8,738,033	8,738,033	退 職 給 与 引 当 金	0	2,878,137	2,878,137
商 品	0	6,328,205	6,328,205	価 格 変 動 準 備 金	0	250,000	250,000
有 価 証 券	27,679,565	0	27,679,565	貸 倒 引 当 金	0	420,000	420,000
敷 金	9,108,950	0	9,108,950	名 簿 引 当 金	2,000,000	0	2,000,000
仮 払 金	1,488,253	663,594	2,151,847	図 書 購 入 引 当 金	10,439,878	0	10,439,878
設 備 造 作	260,000	0	260,000	別 途 調 査 費 勘 定	3,467,672	0	3,467,672
備 品	2,970,175	0	2,970,175	資 金 利 子 勘 定	4,675,400	0	4,675,400
収 益 勘 定	10,542,956	0	10,542,956	東 京 支 部 勘 定	827,026	0	827,026
				連 合 大 会 勘 定	118,375	0	118,375
				賞 金 資 金	1,530,000	0	1,530,000
				寄 付 金	17,235,013	0	17,235,013
				基 本 財 産	180,150	0	180,150
				収 益 勘 定 元 入 金	0	2,854,152	2,854,152
				特 別 積 立 金	13,879,660	1,651,244	15,530,904
				固 定 資 産 特 別 資 金	11,265,689	0	11,265,689
				職 員 退 職 積 立 金	2,500,000	0	2,500,000
				公 益 勘 定	0	10,542,956	10,542,956
合 計	72,654,213	30,458,752	103,112,965	合 計	72,654,213	30,458,752	103,112,965

(9) 通信教育特別会計

収 支 計 算 書

損益算計書(昭和44年4月1日から昭和45年3月31日まで)

収 入 の 部		支 出 の 部		収 入 勘 定		支 出 勘 定	
科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額	科 目	金 額
講 座 収 入	6,357,178	教 材 費	58,566,941	期 末 売 掛 金	14,653,325	期 首 売 掛 金	19,504,954
大 学	2,989,290	材 料 費	14,527,373	期 末 商 品	43,887,952	期 首 商 品	34,428,113
工 高	3,367,888	印 刷 費	28,703,498	期 末 原 材 料	4,248,167	期 首 原 材 料	4,066,678
配 布 収 入	92,154,382	編 集 費	15,336,070	期 首 未 払 金	8,280,020	期 末 未 払 金	9,675,560
大 学	59,064,382	業 務 費	9,138,452	期 首 前 受 金	77,800	期 末 前 受 金	16,600
工 高	33,090,000	指 導 費	5,676,988	期 首 前 受 金	77,800	教 材 費	58,566,941
雑 収 入	635,096	通 信 費	1,293,794	収 入 金	99,146,656	材 料 費	14,527,373
利 子	630,026	宣 伝 費	2,167,670	講 座 収 入	6,357,178	印 刷 費	28,703,498
雑 収 入	5,070	管 理 費	29,608,520	配 布 収 入	92,154,382	編 修 費	15,336,070
戻 入 金	86,000	事 務 費	6,987,168	雑 収 入	635,096	業 務 費	9,138,452
前 払 金	86,000	給 与 費	21,193,683	貸 倒 引 当 金 戻 入	350,000	指 導 費	5,676,988
		交 通 費	1,409,569	価 変 準 備 金 戻 入	1,500,000	通 信 費	1,293,794
		雑 費	18,100	退 職 引 当 金 戻 入	61,000	宣 伝 費	2,167,670
		予 備 費	1,300,050			管 理 費	29,608,520
		法 人 税	1,300,050			事 務 費	6,987,168
合 計	99,232,656	合 計	98,613,963			給 与 費	21,193,683
		差 引 残	618,693			交 通 費	1,409,569
当 期 収 入 計	99,232,656	当 期 支 出 計	98,613,963			雑 費	18,100
前 期 繰 越 計	881,648	後 期 繰 越 計	1,500,341			貸 倒 引 当 金 繰 入	260,000
		(当 座)	1,211,541			価 変 準 備 金 繰 入	1,920,000
		内 訳 (証 増)	288,800			退 職 引 当 金 繰 入	890,000
合 計	100,114,304	合 計	100,114,304	合 計	172,204,920	当 期 剩 余 金	4,129,102

(i) 公收益利益配分

合 計	4,129,102	合 計	4,129,102
-----	-----------	-----	-----------

当期剩余额	4,129,102	納税引当金	1,000,000
前期繰越金	399,716	別途積立金	1,000,000
		退職積立金	2,000,000
		後期繰越	528,818

合 計	4,528,818	合 計	4,528,818
-----	-----------	-----	-----------

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	2,250	未 払 金	9,675,560
預 金	1,164,079	前 受 金	16,600
貯 金	45,212	元 入 金	6,000,000
有 価 証 券	9,531,901	別 途 積 立 金	35,000,000
前 払 金	766,000	退 職 積 立 金	12,000,000
売 掛 金	14,653,325	価 値 準 備 金	1,920,000
商 品	43,887,952	貸 倒 引 当 金	260,000
原 材 料	4,248,167	退 職 引 当 金	7,901,908
備 品	4,000	納 税 引 当 金	1,000,000
		後 期 繰 越	528,818
合 計	74,302,886	合 計	74,302,886

科 目	収 入 の 部		
	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
会 費 収 入			
正 員 会 費	13,523,000	31,555,000	45,078,000
准 員 会 費	0	2,596,000	2,596,000
入 会 金	720,000	0	720,000
終身会費取らずし金	0	560,000	560,000
維 持 員 会 費	26,557,000	2,168,000	28,725,000
小 計	40,800,000	36,879,000	77,679,000
雑 誌 頒 布 収 入	0	3,579,000	3,579,000
図 書 "	0	25,782,000	25,782,000
雑 誌 広 告 収 入	0	34,130,000	34,130,000
図 書 "	1,500,000	2,137,000	3,637,000
雑 収 入	10,000	832,000	842,000
合 計	42,310,000	103,339,000	145,649,000
利 子 収 入	3,220,000	0	3,220,000
補 助 金	500,000	0	500,000
図 書 室 複 写 収 入	500,000	0	500,000
資金利子収入より繰入金	720,000	0	720,000
通 信 教 育 会 "	600,000	0	600,000
図書室設置資金 "	1,400,000	0	1,400,000
収 益 会 計 "	2,055,000	0	2,055,000
前 期 名 簿 繰 越 金	2,000,000	0	2,000,000
総 計	53,305,000	103,339,000	156,644,000

科 目	支 出 の 部		
	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
事 務 所 費	2,527,000	6,188,000	8,715,000
事 務 費	1,678,000	4,109,000	5,787,000
人 件 費	14,428,000	22,899,000	37,327,000
諸 税	0	30,000	30,000
諸 会 費	175,000	0	175,000
支 部 費	6,320,000	0	6,320,000
大 会 費	150,000	0	150,000
賞 金 費	1,015,000	0	1,015,000
複 写 費	420,000	0	420,000
図 書 室 費	5,180,000	0	5,180,000
電 気 規 格 調 査 会 費	6,635,000	0	6,635,000
調 査 研 究 委 員 会 費	8,914,000	0	8,914,000
調 査 雑 費	240,000	0	240,000
連 合 調 査 会 費	192,000	0	192,000
雑 誌 出 版 費	0	48,557,000	48,557,000
図 書 出 版 費	4,075,000	19,501,000	23,576,000
公 益 会 計 繰 入 金	0	2,055,000	2,055,000
合 計	51,949,000	103,339,000	155,288,000
収 支 差 額	1,356,000	0	1,356,000
総 計	53,305,000	103,339,000	156,644,000

通 信 教 育 収 支 予 算

科 目	収 入	科 目	支 出
講 座 収 入	5,470,000	教材費	17,050,000
配 布 収 入	104,500,000	材 印 料 費 費 費	28,400,000
雑 収 入	500,000	編 修	15,300,000
		業 務 費 費 費	11,200,000
		管 理 備	34,200,000
		予 備	4,320,000
合 計	110,470,000	合 計	110,470,000